

昨今の学生相談、 学生支援の現状

学生サポートセンター

健康支援センター、学生相談室

渡部 みさ

学生相談と学生支援

- 「学生支援」

教育及び支援活動における相談機能全般

- 「学生相談」

カウンセラーによる心理的・専門的援助活動

大学における学生相談体制の充実方策について
—「総合的な学生支援」と「専門的な学生相談」の「連携・協働」—

2007年 日本学生支援機構 報告書

教育の一環としての 学生支援・学生相談

- 学生相談： 学生がニーズを感じた時点で、「個別相談」を中心とした丁寧なコミュニケーションを通じて、学生の人間形成を促すもの

「大学教育の一環としての位置づけ」

（廣中レポート，2000）

学生と私たち教職員の関係

- 学生の変化
（多様化：少子高齢化、国際化）
- 大学の変化
（ユニバーサル化、法人化）



- 学生と教職員との関係性の変化

大学のユニバーサル化

→ 学生の多様化

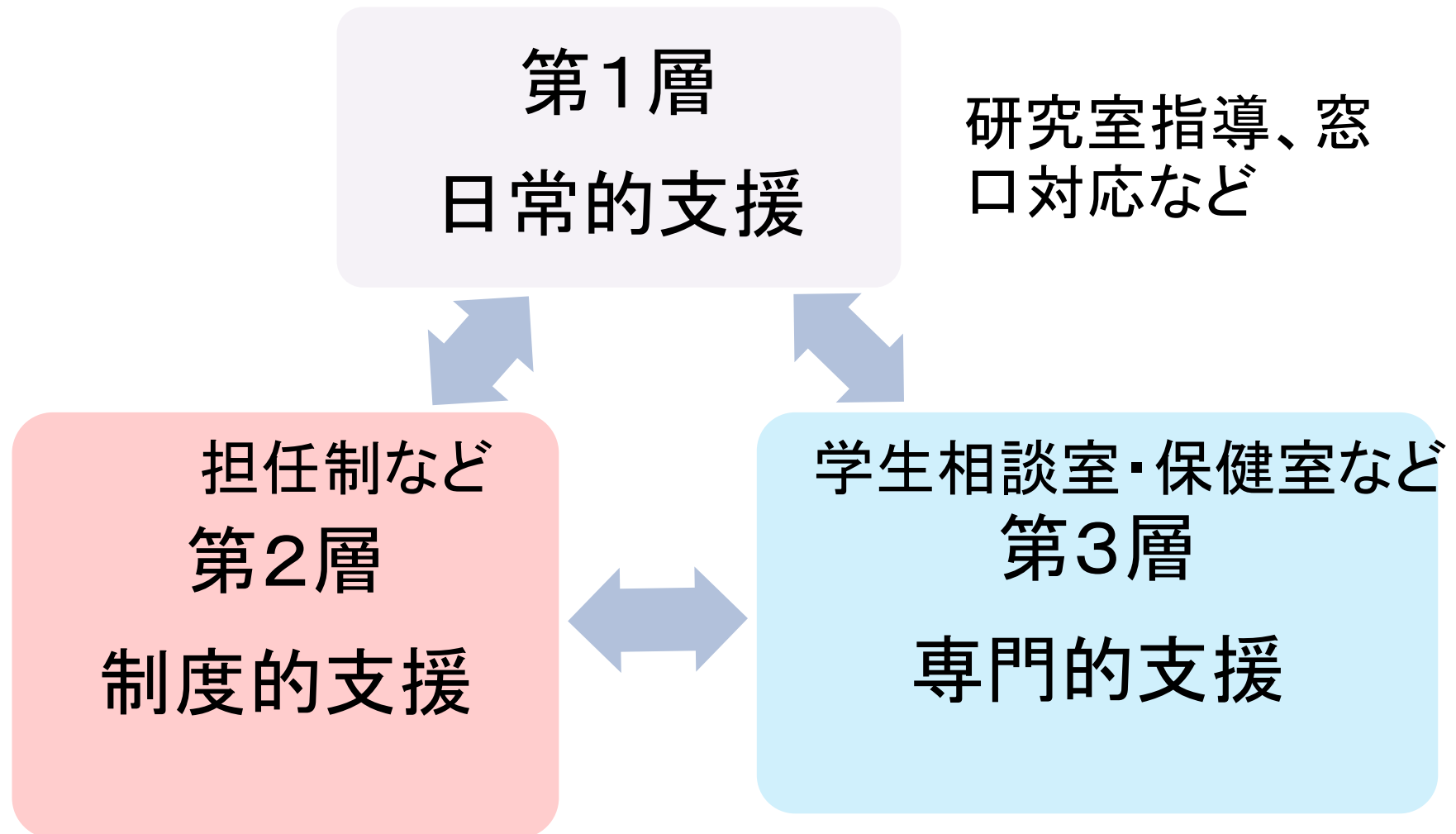
- 学生の個別性と多様性に配慮しつつ、
教育的・成長促進的視点に立った支援
- 大学全体の学生支援力の強化
部局や職種を越えて、縦横に、
入学から卒業まで、連続的に

学生期の課題に応じた学生支援

- **入学期**：新環境に緩やかに移行できるように
きめ細やかな個別支援や導入教育
- **中間期**：学内外の多様な社会的経験の模索
を可能にする支援
- **卒業期**：進路決定の具体化の支援と
大学生活をまとめる機会の提供
- **大学院生**：研究環境への再適応や就職支援等
社会性形成に向けた個別支援

「学生支援の3階層モデル」

連携・協働：総合的學生支援体制



最近の大学生に見られる諸問題

背景 (かつての「疾風怒濤」から静かなる青年期の傾向…)

- メンタルヘルスの問題 (うつ・統合失調症など)
- 性格の問題 (内向、対人恐怖など)
- 発達の問題 (アスペルガー、ADHDなど)

あらわれ方

- 事件 (ストーカー、迷惑行動、消費問題、カルト)
- ひきこもり (成績不振、不登校…)
- 身体を通じた表現 (過食・嘔吐、拒食、自傷)

諸問題対応のヒントとして

- **ひきこもり系学生の支援**：履修・出席状況に見える心のSOS。早期の対応では、連絡、面接にも細やかな配慮必要。
- **事件性のある問題**：日常的交流でのモラル教育、予防的啓発活動。事後対応では、問題背景を見据えた教育的対応。
- **「発達障害」を持つ学生への支援**：アスペルガーやADHD等「発達障害」へも基本的知識習得の上、本人のニーズ把握と支援方策への反映を各部署協働して行っていく必要。個性として尊重し「共に生きる」ための工夫の模索。
- **命を守るための支援**：メンタルヘルスの基礎的知識習得の上、特別な学生とのみ決めつけず、注意深く取り組んで参りましょう。複数考え得る背景を探りつつ、早めで、過剰ではない対応。声をかけ、見守る、そのための居場所作り。
人によって張る安全ネットを幾重にも作っていきましょう。

連携・協働のための留意点 — 守秘義務について —

- 個人情報への配慮、守秘義務、の重要性
学生を支援していくための連携活動で
学生に信頼してもらえるか否かに係わります。
何よりも、学生の立場の立った連携
- 制度としての連携 + 顔の見える連携

大学は人を育てていく場

- 学生も私たちも成長していける…
- 研究がより推進されていく上でも、人が育ち、人がつながっていくことが必要
- そのために、教職員それぞれが学生支援の意識と感覚を磨くことが大切と思います。

まずキャンパスの仲間に関心を そして笑顔と挨拶から・・・

- 大学の構成メンバーとしてお互いに存在を認めあい、尊重し合っているしるしとしての、気持のよい笑顔と挨拶
- これが何よりも、大学のブランド力になっていくはず。
- 学生・院生対応で戸惑うことがありましたら、
どうか学生相談室にお越し下さい。
どうぞ早めに、お気軽にご連絡ください。